



「ふくしまに来て、見て、感じるスタディツアー」

## 会津コース

～リノベーションを通して考える、復興のキーワード～

# 会津コースの1日目



- 鶴ヶ城観光
  - 赤べこ絵付け体験
  - 七日町散策
- 会津にある元々ある  
観光資源や歴史に触  
れるツアー



# 会津コースの2日目



- wowroom見学
  - 市長公舎見学
- 1日目で感じた会津の良さと今地方で流行りつつあるリノベーションについての見学

～リノベーションを通して考える  
復興のキーワード～

- 歴史、繋がり、モノづくり、楽しさ
- 温度差→対流→構造

会津コースで感じた リノベーション とは？

- ・歴史
- ・繋がり
- ・モノづくり
- ・楽しさ

そもそも、リノベーションとは？

既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えることである。 -Wikipediaより

何故、リノベーション なのか？



会津若松市にリノベーションを行った町がある！



# 七日町





# 七日町の歴史



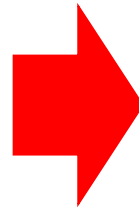
江戸、明治  
街道沿いで旅館も多数  
繁華街の1つだった



昭和  
モータリゼーション  
郊外のショッピングセンター  
七日町は衰退していった

# 七日町の歴史

しかし衰退していく一方で、歴史的建造物は多く残った



1994年に多くの歴史的建造物を活かした七日町通りまちなみ評議会が発足され、建物はそのままに、内装は性能向上させて、今は観光地の1つとなりました。

# 七日町の歴史

利用頻度の少ない歴史的建造物の性能向上、付加価値を与えることで地域の特色を出すことができる



リノベーション

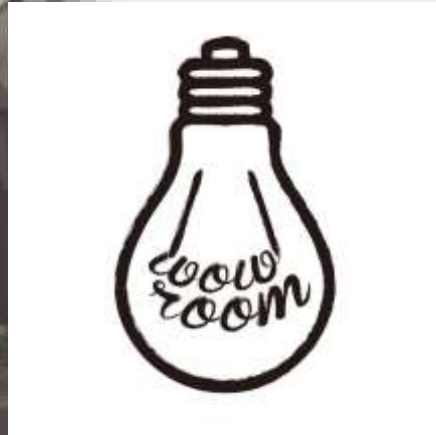
既存の建物の性能向上



付加価値

1994年に多くの歴史的建造物を活かした七日町通りまちなみ評議会が発足され、建物はそのままに、内装は性能向上させて、今は観光地の1つとなりました。

# -wowroom- 会津の暮らし



- もともとは古いビル
- wowroomはペレットストーブとリノベーションのお店
- 以前はHOMEROOMという多目的なパブリックスペースだった
- HOMEROOMのときに地元の人30人近くで内装はリノベーションされた
- 利用回数の多い場となった
- 今はその内装(張り替えられた木の床やカウンター)はそのまま使われている

以前のHOMEROOMのリノベーションで大事にされた事

## 自分達の手でやる事



・繋がり      ・モノづくり      ・楽しさ



自分で作ったものは本物と比べたら不恰好かもしれない。

しかし、作る事の楽しさや自分で作ったモノへの愛着は買う事できない。

さらに、みんなと一緒にモノづくりをしている時間や会話は、その場にいる人たちとの繋がりや思い出も作っている。

ハコモノをつくる時に重要なこと



温度差 → 対流 → 構造



～1日目夜、藤井先生の講演より～  
散逸構造論(何もないところから構造ができるまで)をお味噌汁を例にお話してくれました。

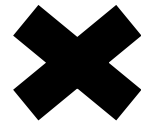
「お味噌汁は温かいと表面に模様(構造)ができるが冷めてしまうと出汁と味噌に分離してしまう。空気に触れて冷めている部分とお椀によって熱が逃げない部分との温度差によって対流が生まれて構造ができる。重要な事は温度差があり、流れが生まれ、構造ができる事。」



# wowroomの内装が作られている時は



古いモノ



温度差



何か作りたい人



人の流れ(対流)が生まれて、利用回数の多い構造ができた。  
一緒にモノづくりする事は人との繋がりも生まれるし、モノづくりには楽しさがあり、作ったモノに愛着がわくので、構造ができた後も足を運んでしまう。

# キーワードから考える会津コースが提案すること 「参加型の観光&ゲストハウス運営」

概要: 会津地方は既に多くの観光資源が存在し、訪れやすい土地となっている。  
しかし、一回きりの観光ではなく、再度会津に訪れやすいような土地にする。

例: 観光客にリノベーションをした建築物を見学してもらい、実際に家具等のリノベーションを体験してもらう。さらにそれらのリノベーションした建築物をカフェ等の観光資源にし、リノベーション完了後に通知し、再度会津に訪れてもらうようにする。

## プロジェクトのポイント

- 自分が携わったものが地方にあることで、完成後の建築物を見に来たくなるようなことを期待するものである。
- 自分が関わった土地として愛着を持ってもらう。
- ゲストハウスは宿泊費も安く、さらに観光地に住む地元の人との交流も生まれやすい。加えて福島県のような場所では実際の地元の人々の声も聞けるチャンスすにもなりうると考えられる。

# キーワードから考える会津コースが提案すること 「姉妹校によるXchange Festival」

概要: 福島県の学校と県外の学校が提携を結び互いの文化祭を盛り上げるための  
“モノづくり”を一緒にするプロジェクト

目的: 姉妹校→福島県の大学の横の繋がりが薄いから  
文化祭→毎年開催なので持続可能なプロジェクトになる。  
相互開催→持続可能にするために一方的ではなく双方の協力が必要  
モノづくり→一緒に何かを作り上げることで、人との結びつきが強くなる。  
作ったモノが地域にあれば、作ったものとその地域に愛着が湧く

## プロジェクトのポイント

- 既成の企画に参加者を募るのではなく、何かをやりたい人を集めて、プロジェクトを参画していくこと。
- いろんな人と交流してやって行くことは楽しくもなるし、福島県の学生と県外の学生との繋がりも強まる

# それぞれが実施した情報発信



↑明治大学の学祭でのポスター発表。福島のお菓子も用意していたが、来場者は長く話を聞いていただけ。



↑会津大学の学祭での発表。来年、会津大学に入学を希望している他県民の親御さんにも福島県の状況を説明できた。

明治大学さんではゼミ内でのプレゼンも実施され、参加者以外の方にアンケート調査を実施した。

# SNSでの情報発信



3  
624 2016/09/01 11:23

## 福島 再発見の旅♪♪\*

1日目は、鶴ヶ城に行って、幕末にタイムスリップしてからの赤べこ絵付けに七日町でレトロなカフェに入って、レトロなお店で大正ロマン感じてきたよー！会津の歴史感じてきたー😊💕

楽しかったなー♪



2016/08/29 20:26

3日間の福島スタディーツアーから帰宅👏 福島の学生さんたちに観光案内してもらい、一緒にプレゼンも頑張りました👏食べ物も人も魅力的な福島県でした😊



2016/09/01 11:23

4 ツイートアクティビティを表示

4 いいね

福島県の会津にきました👏  
台風こなくて虹も見れて今日は良い観光日和😊



2016/08/29 23:38

4 ツイートアクティビティを表示

6 いいね

docomo 4G 1:43 18%

## ツイートアクティビティ



Nana @nanana2461  
福島県の会津にきました👏  
台風こなくて虹も見れて今日は良い観光日和😊  
pic.twitter.com/o0S730Go4X

インプレッション 905  
ユーザーがTwitterでこのツイートを見た回数

エンゲージメント総数 282  
ユーザーがこのツイートに反応した回数

docomo 4G 1:43 18%

## ツイートアクティビティ



Nana @nanana2461  
3日間の福島スタディーツアーから帰宅👏 福島の学生さんたちに観光案内してもらい、一緒にプレゼンも頑張りました👏食べ物も人も魅力的な福島県でした😊  
pic.twitter.com/x9uXnNDWQZ

インプレッション 847  
ユーザーがTwitterでこのツイートを見た回数

エンゲージメント総数 206  
ユーザーがこのツイートに反応した回数

それぞれある程度の反応は「いいね」等で見られた。しかし、実際の感想、反応は詳しく知れなかった。

## これから福島との関わり方

福島県民と県外の人との繋がりを強め、互いのことを深く理解し、「福島」を少しでも身近に感じられるようにするのがいいのでは？

「福島県＝復興、風評被害払拭」という硬い問題に真剣に取り組み正しい知識をつけ情報発信していくことも大事だが、「楽しそうだから」という理由でも良いので、一緒に楽しみながら何かを作り上げていくのもいいのでは？

その時に、今回感じた、歴史（古いモノ）、繋がり、モノづくり、楽しさ、温度差→対流→構造を意識してやっていくことが大切だと感じる。